



「高齢者福祉のボランティア活動」について、大いに語る出席者たち

1面から続く

いないで地域のコミュニティ活動にも奉仕活動にも積極的に参加して活動してもらおうための場を提供するなど有効活用していく工夫（機会の面でも報酬の面でも）が必要である。これは、例えば現行の「公園環境保全活動報償金交付制度」や「協働のまちづくり公募補助金制度」等諸制度の一層の充実を図って行くことである。

②一人暮らしとか病弱な高齢者に対しては、防災、防災上からも実態の把握に努め、まちづくり協議会と民生委員協議会とが緊密に連携を図り、日常の見守り体制や緊急時の連絡体制を一層強化していく必要がある。以上①と②について行政と地域住民とが協調して、生き生きとしたまちづくりができるような体制づくりが重要と考える。

スウェーデン方式を採り入れた高齢者福祉の具体化

司会 次に城内8マンション群の横断的活動を総括し、高齢者福祉の世界的に進んだスウェーデン方式を考えて、具体的案件を創りマンション住民主体の活動に取組む千秋さんのお考えを。

千秋 毎月最終日曜日に各マンションから2名の理事長や担当役員が集まりいろいろと熱心な話し合いをしています。要介護者の把握や認知症・障害者、高齢者などの見守りネットワークづくりに、基金を含むシステムの確立を図るべく議論をしています。今はとにかく実行に向けて、一つひとつ目標をたてている。マンション群にある公園再開発による、高齢者の居

場所づくり、緊急時のネットワーク、エンディングノートの作成、医療経験者などの日常生活の相談システム、食糧や生活必需品等の備蓄倉庫を設置する、といった具合である。

見守りは、日頃の近所づきあい「向う三軒両隣」が一番

徳高 高齢者の見守りについて、自治会で話し合いました。それは特別な活動をするのではなく、日本には昔から「向う三軒両隣」の良好な近所づきあいを、信頼と安心によって結ばれるコミュニティが存在していました。従って、私たちの地域では常日頃から「近所づきあいの助け合い精神」をもって、高齢者福祉をフォローしたいと考えています。活動グループが色々な企画運営に取り組み、皆が喜び勇んで参加し、どう言う風に地域が結集できるかを、いま一生懸命工夫しております。

光が丘福祉活動委員会は、今年度の総会で20周年を迎えました



株本 福祉活動委員会は、地域で楽しく過ごせて本当に心から笑える「この光が丘に住んでいて良かったな」という地域をつくりたい、それが目的です。平成2年に宝塚市社会福祉協議会からモデル地区に指定され、平成21年度総会で、20周年を迎えました。「光が丘見守りネット枠図」の絵がありますが、汽車ポッポに繋がって行く、ゆずり葉コミュニティ、光が丘自治会、老人クラブ「美咲喜会」、福祉活動委員会、愛護委員会、小中学校の連携と協働する私達活動のネット枠図です。それにトレードマークの亀さんは、ボチ

ボチと歩んで、ウサギさんじゃなくて、そのそと歩んでいけば、きつと地域に根づいて行けると考えています。

自治会組織が整えられ各部会に於いて高齢者も活動

田妻 私どもの自治会組織は、過去の役員の方々のご努力によって円滑な活動ができるように整えられており、組織内の部会制で、それぞれ活動しています。自治会の福祉活動については、福祉部が、「さつき会」や「サロンド逆瀬台」などを開催し、高齢者を招いて食事会・講話・ゲーム・合唱など楽しい会をやっています。また、敬老の日には、ご長寿の方のお宅を訪問してお祝いを渡しています。一方、直接福祉活動を行っている訳ではありませんが、高齢者の交流・親睦を促進し街の活性化を図る活動を次の部会で行っています。

環境緑化部では、自然林・公園の整備活動、企画運営部では、桜まつり・夏祭り・文化祭などのイベント事業、防犯防災部では、小学校下校児童の安全の見守り活動などを行っています。

また趣味の会では、お茶の会、淡彩画の会、男声・女声コーラスなど沢山のサークル活動が活発に行われています。ですから元気な高齢者の方には、参画できる活動の場や親睦・交流の場が充実されていますし、それらの場がよく活用されていると思います。後は病弱な高齢者に対するボランティア活動を自治会として、どのように関与して行くかを、民生委員の方とも相談し方針を決めて行きたいと思っています。

白井 部会では研修とか施設見学など部員の知識向上に努め、それが少しでも皆さんに役に立つようになっています。

緊急課題・急坂の街に「移動手段」の具体化を

友田 まだ自治会が無かった時に、これから高齢化が進み、私達がもつと歳を取った時に寂しい街になるから、何とかしなければいけない、と言っていました。それが幼稚園の廃園がきっかけで仲間づくりが進み「コミュニティ逆瀬台」ができました。これが現在の自治会活動の原点です。この地域は高齢化率が高いですけれども、元気な高齢者が多いと思います。行事など、たくさんの方の住民ニーズがあっても、この急な坂ですから足の問題がネックになっています。今一番必要なのは移動手段の解決だと思っています。

「コスモス」は、せいいい逆瀬台デイスタービスセンター2階の市民交流広場にあり、地域の人たちや介護を受ける高齢者が、ゆつたりと話のできる交流の場になっています。地域の主婦たち63名が、ボランティア活動として自主運営されています。

ボランティア喫茶「コスモス」



岡原 地域の皆で、コミュニティを広げて行くには、ペーパーだけで実感できません。コミュニティが、如何に実践しているかということ、住民に知ってもらったかどうか。大迫 マンション管理組合役員は、1年で交代しますので継続性が薄いのですが、民生委員との連携で、福祉活動みたいな事を立上げたらと働きかけています。川上 大きな網と小さい網と、その真ん中の網とを考えて、行政ではできない、また、皆のボランティア活動では、おおい切れないことを、NPOがサポートしてきたと思います。

「活動者登録届」制度の有効活用を「協働の場」づくりを進めよう!!

司会 逆小校区は、高齢者福祉の活動グループにより、地域力が醸成されてきました。また、ゆずり葉コミュニティには、「活動者登録届」によるボランティア活動の制度があります。これを最大限活用して福祉課題の解決を図りたいものです。

常岡 社会福祉協議会は、宝塚市の支援を頂き地域の福祉活動を支援する拠点として、逆瀬台デイスタービスセンター2階に地区センターと、地区担当の職員を配置しています。山岡 地域包括支援センターは、聖隷が宝塚市から委託事業として総合相談窓口の機能を持っています。高齢者が地域で長く住んで頂くために認知症の啓発活動、認知症のサポート養成講座とも手伝っています。地域で長く住めるように見守り、お互いに行えることをお手伝いしていきたい。

井筒 コミュニティが担うべき、②要見守り高齢者福祉に対しては、多くの課題が残っています。一方、①元気な高齢者の福祉対策については「地域」このまちづくり計画の中に、介護の要らない、自然を活かした健康長寿のまちづくりがあります。早い段階から、校区を横断した各種団体との「協働の場」が着々と進んで、健康で、明るく、楽しいまちづくりの成果となっています。

自然を活かした健康長寿のまちづくり



ハイキングコースの整備活動



歩いて健康づくり!!



緑陰サロン・ベンチづくり



スポーツで健康づくり!!



歌って健康づくり!!

【この項おわり】